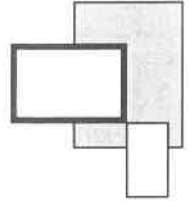




Matsuyama
Business
College

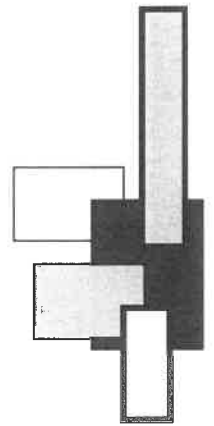
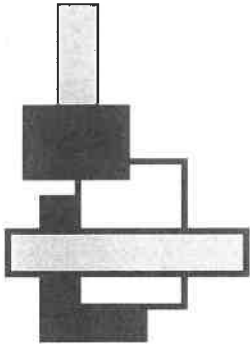


松山デザイナー専門学校

ファッションクリエイター学科

2025 年度

シラバス



ファッションパタンナーコース 2年

名前

※一年間、各自保管すること

令和7年度

服飾家政専門課程 ファッションクリエイター学科 パタンナーコース

必修/選択	区分	科目名	種別	担当者	パタンナーコース 2年		
					前期	後期	単位
必修	学科共通	服飾造形Ⅲ	実習	大野	180		6
		パターンメイキングⅢ	講義	野口	60		4
		舞台衣装Ⅰ	実習	川上	60		2
		Mac実習Ⅲ	実習	野田	30		1
		クリエイションデザインⅢ	実習	木村	60		2
		服飾造形Ⅳ	実習	大野		180	6
		パターンメイキングⅣ	講義	野口		60	4
		舞台衣装Ⅱ	実習	川上		60	2
		Mac実習Ⅳ	実習	野田		30	1
		研修	実習	大野		30	1
	コース	パターンメイキング理論	講義	大野	30		2
		アパレルCADⅠ	講義	玉井	30		2
		パターンメイキング実技	実習	大野		30	1
		アパレルCADⅡ	講義	玉井		30	2
		創作パターン/サンプル縫製Ⅰ	実習	野口		30	1
必修科目合計					450	450	37
					900		
年間合計時間/単位数					900		37

1 講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。

授業科目	服飾造形Ⅲ			時間数 (コマ数)	180 (90)	単位数	6
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年		
授業科目の テーマと目的	衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、実際の造形にかかわる人体の構造、計測の仕方、パターン製作、縫製用具、縫製方法、生地扱い方など、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す						
学習到達 目標	学園祭ファッションショーでオリジナルデザイン作品を発表する						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 プライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多種多様な服作りの知識と技術を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～6	部分縫い(6コマ)	薄物の仕立て方、袋縫、パイピング、ピンクッション					
7～22	Fショー作品制作1点 学園祭 7月(46コマ)	パターン作成、トワル組み立て、修正、縫い代付け					
23～52		裁断、縫製、仕上がり					
53～62	セットアップ(28コマ)	パターン作成、トワル組み立て、修正、縫い代付け					
63～80		裁断、縫製、仕上がり					
81～90	ジャケット(10コマ)	パターン作成、トワル組み立て、修正、縫い代付け					
使用テキスト 教材・教具	布、副資材他						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	部分縫い10%、学園祭作品60%、セットアップ30%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	パターンメイキングⅢ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	野口 陽子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年		
授業科目の テーマと目的	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要なデザイン表現技術の修得を目指す						
学習到達 目標	デザイン画を見て各アイテムのパターンを制作できる						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 パタンナーとして実務経験のある教員が、製図の書き方について人体構造に基づき指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	スカートバリエーション応用	・マーメイドスカート・コクーンスカート・ドレープスカート・タックインタック ・ウエスト位置(ハイウエスト・ロウウエスト)・ウエスト始末(ヨーク・ゴム入り) ・裾ラインのバリエーション(縮尺製図)					
3～4							
5～6	オリジナルスカート作成	・各バリエーションから組み合わせデザイン・オリジナルパターン(実寸製図) ・シーチングにトレース・裁断・ミシン縫製					
7～8							
9～10	パンツのバリエーション	フレアードパンツ・ペグトップパンツ・ベルボトムパンツ(縮尺製図)					
11～12	身頃のバリエーション応用	ゴージ・センター・ショルダー・ウエスト2種 ウエスト切り替え・ヨーク切り替え 展開方法(縮尺製図)					
13～14	袖のバリエーション応用①	ランタン・ペタル・ジゴ・タック・フレア(縮尺製図)					
15～16	袖のバリエーション応用②	ラグラン・フレンチ・ドルマン・キモノスリーブ(縮尺製図)					
17～18	襟のバリエーション応用①	ハイネック・台襟付きシャツカラーの検証					
19～20	オリジナルブラウス作成	・各バリエーションから組み合わせデザイン ・オリジナルパターン(実寸製図) ・工業用パターン作成 ・仕様書作成 ・シーチングにトレース ・裁断 ・ピンワーク					
21～22							
23～24							
25～26							
27～28							
29～30	テスト	前期修了テスト(実技)					
使用テキスト 教材・教具	『パターンメイキングⅠ』学校法人 杉野学園出版部、他2冊						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%の比率で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	舞台衣装 I			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	川上 須賀代			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年		
授業科目の テーマと目的	舞台衣装デザインに必要な表現力と発想力を身につけ、機能的な衣装制作を目指す						
学習到達 目標	基本原型からパターン展開し、舞台衣装に対応できるオリジナルパターンと制作ができるようになる						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 コスチュームクリエイターとして活動している教員が、基礎的な舞台衣装制作の知識と技術を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	衣装概論・製図	衣装制作に必要な製図方法					
2～4	立体検証①	袖応用・袖山の検証					
5～6	立体検証②	デザイン画を読み取り、製図方法を立体で検証					
7～10	衣装デザインについて	衣装デザイン説明と機能的パターンについて					
11～19	パターンメイキング	デザイン画を元にパターンメイキング					
20～28	トワール作成	シーチングを用いてトワール制作					
29～30	仮縫いフィッティング	演者に向けて仮縫いフィッティング					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題80%(縫製、完成度)、プレゼンテーション20%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	Mac実習Ⅲ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年		
授業科目の テーマと目的	商品企画を中心にデジタルデザインで企画MAPなどを制作						
学習到達 目標	自ら企画書を制作できプレゼンできる						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 アパレル企業での勤務経験、企業デザイナーとしての実績を生かし、デザインの発想の方法 や、デザイン技術を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	商品企画 I						シーズン企画
3～4	商品企画 I						期中企画
5～6	商品企画 I						SDGSからの企画 環境に配慮した素材
7～8	商品企画 I						SDGSからの企画 リサイクル
9～10	OEMからのデザイン						ブランドリサーチ
11～12	OEMからのデザイン						デザイン出し
13～14	OEMからのデザイン						MAP制作
15	OEMからのデザイン						プレゼンテーション・修了テスト
使用テキスト 教材・教具	プリント配布						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題60%、修了テスト40%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	オンライン授業時は、PCとイヤホンを持参する						

授業科目	クリエイションデザインⅢ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	木村 蘭			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年		
授業科目の テーマと目的	デザイン基礎を活かしポートフォリオ用デザイン画ルックブックを制作する						
学習到達 目標	コンテスト入賞を目指す						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～4	デザイン画	学園祭デザイン画描く(審査会)					
5～10		デザイン画コンテスト					
10～12		学園祭デザイン画描く(完成)					
12～20	ルックブック	松山コレクションデザイン案、デザイン画コンテスト					
20～28		テーマ決め、デザイン画描く					
29～30		仕上げ、プレゼン					
使用テキスト 教材・教具	画用紙、水彩色鉛筆、コピックチャオ無彩色						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	デザイン画80%、ルックブック20%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自ノートを持参する						

授業科目	服飾造形Ⅳ			時間数 (コマ数)	180 (90)	単位数	6
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年		
授業科目の テーマと目的	衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、実際の造形にかかわる人体の構造、計測の仕方、パターン製作、縫製用具、縫製方法、生地扱い方など、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す						
学習到達 目標	トータルコーディネート制作						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多種多様な服作りの知識と技術を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～5	自由制作(20コマ)	パターン作成、トワル組み立て・修正・縫い代付け					
6～15		裁断・縫製					
16～30	松山コレクション(45コマ)	パターン作成、トワル組み立て・修正・縫い代付け					
31～60		裁断・縫製					
61～90	ジャケット(25コマ)	裁断、縫製、仕上がり					
使用テキスト 教材・教具	布、副資材他						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	自由制作20%、松山コレクション作品50%、ジャケット30%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	パターンメイキングⅣ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	野口 陽子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年		
授業科目の テーマと目的	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要なデザイン表現技術の修得を目指す						
学習到達 目標	各種アイテムパターンができ、ファッション3Dモデリングを操作する事ができる						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 パタンナーとして実務経験のある教員が、製図の書き方について人体構造に基づき指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	Tシャツ製図	サンプルを採寸しパターン制作					
3～4	Tシャツ縫製	カットソー裁断・ミシン縫製					
5～6		ロックミシン縫製					
7～8	メンズシャツ製図	台襟付きシャツカラー・シャツスリーブ					
9～10		パーツパターン抜き出し・工業用パターン					
11～12	デニム製図	デニムの知識 製図					
13～14		パーツパターン抜き出し					
15～16		工業用パターン・仕様書作成					
17～18	ファッション3Dモデリング 導入	ファッション3Dモデリングの基本操作説明					
19～20	ファッション3Dモデリング 基礎1	ファッション3Dモデリングの操作1説明					
21～22	ファッション3Dモデリング 基礎2	3D画面でスカートパターンを作成					
23～24	ファッション3Dモデリング 基礎3	3D画面でワンピースパターンを作成					
25～26	ファッション3Dモデリング 基礎4	4D画面で素材・アニメーションを作成					
27～28	ファッション3Dモデリング 応用1	3D画面で立体でパターンを作成					
29～30	テスト	後期修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	『メンズウェアパターンメイキング』杉野学園、オリジナルプリント						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%の比率で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	舞台衣装Ⅱ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	川上 須賀代			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年		
授業科目の テーマと目的	舞台衣装デザインに必要な表現力と発想力を身につけ、機能的な衣装制作を目指す						
学習到達 目標	自ら課題を発見し、解決に導く力、想像力、発想力、表現力を習得する						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 コスチュームクリエイターとして活動している教員が、基礎的な舞台衣装制作の知識と技術を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～4	パターン修正	修正パターン作成					
5～8	裁断	使用生地のカット、芯貼り					
9～25	制作	衣装制作					
26～27	最終フィッティング	衣装フィッティング ※プレゼンテーション					
28～30	最終確認	修正、納品に向けて仕上げ					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題80%(縫製、完成度)、プレゼンテーション20%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	Mac実習Ⅳ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年		
授業科目の テーマと目的	商品企画を中心にデジタルデザインで企画MAPなどを制作						
学習到達 目標	自ら企画書を制作できプレゼンできる						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	商品企画Ⅱ	トレンドからのデザイン①					
3～4	商品企画Ⅱ	トレンドからのデザイン②					
5～6	商品企画Ⅱ	トレンドからのデザイン③					
7～8	商品企画Ⅱ	トレンドからのデザイン④					
9～10	ポートフォリオ	作品集の構成と見せ方					
11～12	ポートフォリオ	ポートフォリオ制作					
13～14	ポートフォリオ	ポートフォリオ制作					
15	期末試験	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	プリント配布						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題60%、修了テスト40%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	オンライン授業時は、PCとイヤホンを持参する						

授業科目	研修			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	教員			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年 ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	トレンド発信の早い韓国で、韓国ファッションの勉強、及び、ファッションショー作品に使用する生地や副資材の購入を行う						
学習到達 目標	イメージを具体化する、かつ数値の予定と併せた仕入れ業務を行う						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	事前準備	韓国トレンド、市場について					
3～14	研修	韓国資材購入					
15	研修まとめ	レポート					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	レポート100%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	パターンメイキング理論			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	パタンナーコース 2年		
授業科目の テーマと目的	パターンメイキング技術検定試験3級の筆記試験対策を主な目的とし、パターンメーカーに必要な基礎要素・基礎知識・技術の習得						
学習到達 目標	パターンメイキング技術検定試験3級合格を目指す						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	既製服の概念	既製服の基礎知識とパターンメイキング用語について					
2	〃	既製服のパターンについて、既製服の寸法					
3~4	ファースト パターンメイキング	フラットパターンの基礎知識(身頃、スカート、袖)					
5~6	〃	ドレーピングの基礎知識(模擬テスト)					
7	工業用 パターンメイキング	工業用パターンとは 工業用パターンの記号					
8~9	〃	工業用パターンの知識					
10~11	〃	工業用パターンメイキング(模擬テスト)					
12~13	グレーディング	グレーディングとは (模擬テスト)					
14	素材	素材の知識とパターンメイキング					
15	テスト	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブック(一般財団法人日本ファッション教育振興協会)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	模擬テスト30% 修了テスト70%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	パターンメイキング技術検定試験3級 2025年11月29日(土)		
備考							

授業科目	アパレルCAD I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	玉井 牧子			時間割	隔週木曜 1,2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	パタンナーコース2年		
授業科目の テーマと目的	特別設備のアパレルCADを使いこなし、企業のパタンナーでの就職に対応できるように学ぶ						
学習到達 目標	アパレルCADを使いこなす						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 パタンナーとして勤務実績のある講師が、その経験を活かして、アパレルCADの基本的な知識 や操作方法を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	はじめに	CADについて説明					
2	PM	仕様書の見方、型紙をひく					
3～6	PM	デジタイザー入力、パターン展開、出力					
7～8	PM	パターン修正					
9～12	PM	寸法からパターン作成					
13～15	まとめ	実技テスト					
使用テキスト 教材・教具	ポケットファイル						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	操作手順習得状況50%、実技テスト50%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自でノートを準備すること						

授業科目	パターンメイキング実技			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	パタンナーコース 2年		
授業科目の テーマと目的	デザインブラウスのパターンメイキング、トレース、シーチング組立て、ファーストパターン作成の一連の作業を3時間半で完成させる						
学習到達 目標	パターンメイキング技術検定試験3級合格						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1~7	実技練習A	ブラウスのファーストパターン、トワル組立ての反復練習					
8~15	実技練習B	ブラウスのファーストパターン、トワル組立ての反復練習					
使用テキスト 教材・教具	テンプレート、厚紙						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題作品70%、検定30%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	パターンメイキング技術検定試験3級 2025年11月29日(土)		
備考							

授業科目	アパレルCADⅡ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	玉井 牧子			時間割	隔週木曜 1,2限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	パタンナーコース2年		
授業科目の テーマと目的	特別設備のアパレルCADを使いこなし、企業のパタンナーでの就職に対応できるように学ぶ						
学習到達 目標	アパレルCADを使いこなす						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 パタンナーとして勤務実績のある講師が、その経験を活かして、アパレルCADの基本的な知識 や操作方法を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	はじめに						グレーディングについて
2～6	GR						グレーディング
7～10	GR						デザイン、寸法決め～グレーディングまで
11～12	マーキング						マーカー入れ
13～15	まとめ						実技テスト
使用テキスト 教材・教具	ポケットファイル						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	操作手順習得状況50%、実技テスト50%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自でノートを準備すること						

授業科目	創作パターン/サンプル縫製 I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野口 陽子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	パタンナーコース 2年		
授業科目の テーマと目的	基本型からの応用ができ、パターンからトワルを組み、立体の確認をする事ができる						
学習到達 目標	メンズウエア・子供服など幅広いアイテムのパターン制作ができる						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 パタンナーとして実務経験のある教員が、「今」のファッションを表現するパターンテクニックと型紙の 制作方法を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ビスチェ	ビスチェの構造(実寸製図)					
2		パーツパターン抜き出し・裁断					
3		ミシン縫製					
4		ミシン縫製					
5	子供ワンピース	109サイズ原型製図					
6		ワンピース製図					
7	ギャザーブラウス	デザインを読み取りパターン化する(実寸製図)					
8							
9	パフスリーブブラウス	デザインパターン(実寸製図)半袖ブラウス					
10							
11	デニム組立て	裁断					
12		ミシン縫製					
13		ミシン縫製					
14	テスト	修了テスト					
15							
使用テキスト 教材・教具	オリジナルプリント						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%の比率で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							